

資源のみち部門

地域に密着した循環型下水処理の実現
～「環境宣言都市さが」における下水道資源の有効利用～

佐賀県佐賀市

有明海への処理水放流について、地元漁業者との研修会



農地に利用するために処理水を採水



佐賀市下水浄化センター



汚泥堆肥を使った地元保育園児による苗植え体験



汚泥堆肥を使った地元住民との野菜作り



消化ガス発電設備（25KW×16台）

《消化ガス発電による効果》

- **施設電気使用量の削減及び電気料金の削減**
施設全使用量の**約43%**を賄う。
購入電気料金**約3,400万円**の削減
- **Co2の削減量**
約1,169 t / 年（樹齢50年杉**約83,500本分**）
- **ガス発電の排熱利用**
熱交換器により消化槽の加温に再利用し、メタンの発酵促進

佐賀市においては、豊かな自然環境を未来の子どもたちに引き継いでいくため、市全体で環境のまちづくりを進めていくことを目的とし、佐賀市環境都市宣言を行いました。

当下水浄化センターでは、処理水の農業・ノリ養殖への利用、農業が主産業である佐賀市での汚泥を使った堆肥作りや、下水処理の過程で発生するメタンを主成分とする消化ガスでの発電など、下水道資源を有効に活用しながら、地域と密着した喜ばれる施設を目指しています。